

|    |    |  |
|----|----|--|
| 2年 | 名  |  |
|    | 組前 |  |



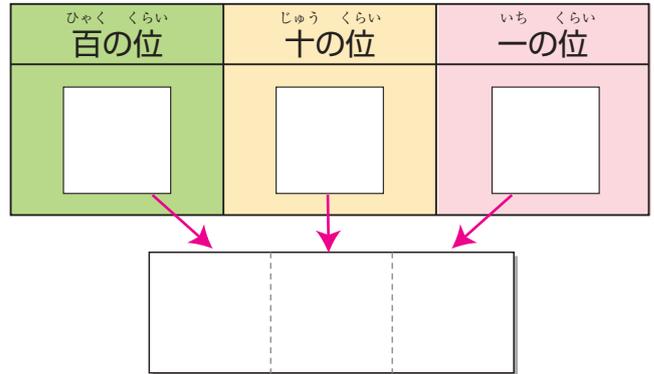
◆数のあらし方

はな なん  
花は 何こ あるでしょうか。

① 100のたば、10のたば、  
1のたばが、それぞれ 何こ  
あるでしょうか。



② 百の位、十の位、一の位の  
数字を 書きましょう。

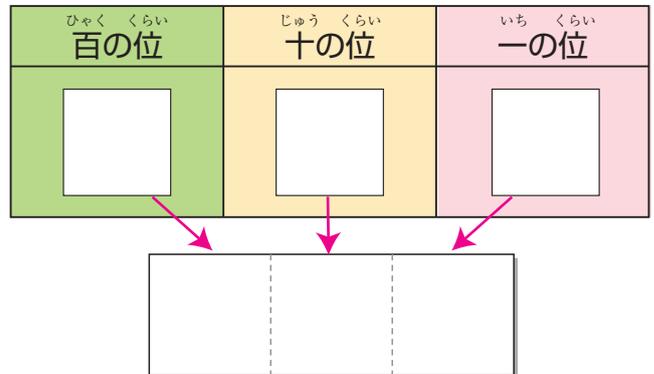


③ 花の数は、100を2こと、  
10を4こと 1を3こ あわせた  
数で、□です。

④ 100のたば、10のたば、  
1のたばが、それぞれ 何こ  
あるでしょうか。



⑤ 百の位、十の位、一の位の  
数字を 書きましょう。



⑥ 花の数は、100を2こと、  
10を0こと 1を7こ あわせた  
数で、□です。



にあてはまることばやしるしをかきましょう。

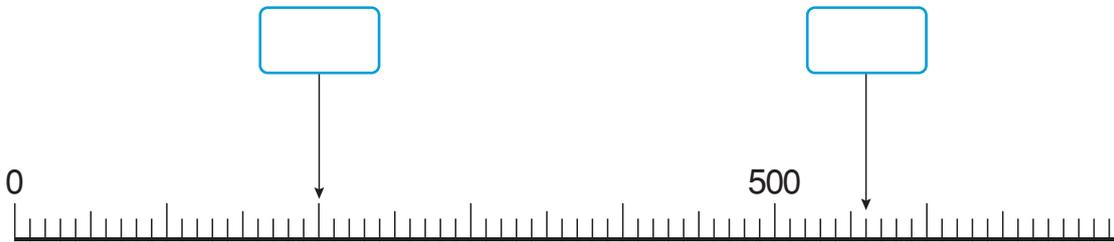
① 598と589の大小は、の位の数字を見るとわかります。

| ひゃく くらい<br>百の位 | じゅう くらい<br>十の位 | いち くらい<br>一の位 |
|----------------|----------------|---------------|
| 5              | 9              | 8             |
| 5              | 8              | 9             |

② >、<のしるしをつかってあらわすと、598  589になります。



下の数の線を見て答えましょう。



① いちばん小さい1めもりは、をあらわしています。

② 数の線のにあてはまる数をかきましょう。

③ 100を3こと、10を9こあわせた数は、です。

④ 10を17こあつめた数は、です。

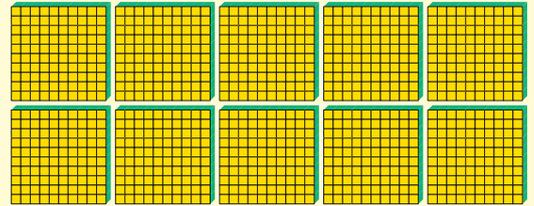
⑤ 230は10をこあつめた数です。



◆千

に あてはまる <sup>かず</sup> 数を <sup>か</sup> 書きましょう。

① 100を10こあつめた <sup>かず</sup> 数を  
<sup>せん</sup> 千と いい、  と <sup>か</sup> 書きます。



② 1000は  より 1 <sup>おお</sup> 大きい <sup>かず</sup> 数です。

③ 1000は10を  こあつめた <sup>かず</sup> 数です。



◆何十、何百の計算

60 + 80 の <sup>けいさん</sup> 計算を しましょう。

60 + 80 =



10のまとまりで <sup>かんが</sup> 考えると、  
 +  だから…。



900 - 400 の <sup>けいさん</sup> 計算を しましょう。

900 - 400 =



100のまとまりで <sup>かんが</sup> 考えると、  
 -  だから…。